

令和2年度 大垣市障がい者の暮らしを支える協議会 各部会の開催報告

資料 2

回数	部会名	開催日	テーマ	開催目的	参加者	実施内容	成果・効果	課題・今後の取り組み
		開催場所						
2回	相談支援部会	令和3年 3月10日(水) リモート会議	精神障がい者にも対応できる地域包括ケアシステムの構築に向けて	精神障がい者にも対応できる地域包括ケアシステムについて理解する。	精神科病院 特定相談支援事業所 委託相談支援事業所 保健所 保健センター 高齢福祉課 事務局 20名	「精神障がい者にも対応できる地域包括ケアシステムの構築に向けて」と題して、のぞみの丘ホスピタルの精神保健福祉士、臼井 潤一郎氏を講師に招き、勉強会を行った。	・地域共生社会は、横の広がりであり、縦と横のつながりが大切であることがわかった。 ・寄り添い支援から、精神障がい者本人を中心に本人と行政と一緒に伴走する支援に変わってきていることがわかった。 ・個人が自立的な生を継続するには、具体的な課題解決のアプローチとつながり続けるアプローチの両輪からのアプローチが必要である。特に、後者のつながり続けるアプローチが大切であり、その役割を担うのが一般相談や地域活動支援センターにあたる、ということを学んだ。	精神障がい者は年々増加している。さらに、対応方法が困難なケースも増えている。精神障がい者への対応方法を学び、地域で精神障がい者が自分らしく生活できるよう支援していく方法について考える機会を設ける。
4回	権利擁護部会	令和3年 3月16日(火) 市役所 大会議室	事業所単独で設置する虐待防止委員会と虐待防止の取り組み事例～田原授産所の実践報告～	障がい者の虐待防止について理解する。	障害福祉サービス事業所 部会員 事務局 25名	愛知県田原市にある田原授産所施設長の鎌田 博幸氏を講師に招き、障害者の虐待防止研修会を開催した。	・事業所における障がい者の虐待防止の取り組みについて、田原授産所を例に説明を受けた。その中で、すべての根拠法律になる「障害者虐待防止法」を理解することが大切であることを学んだ。 ・「アンガーマネジメントの基本を学ぶ」では、自分たちの怒りの原因は、自分の理想とのギャップから生まれることがわかった。怒りを感じたら、まず6秒やり過ごす。自分の怒りを書き出してみる。価値観は、人それぞれであるということを学んだ。	・障がい者虐待防止委員会の設置が義務化され、その中の研修は「行政が行うものも可」とされていることから、今後も年1回は研修会を開催していく。